

## 学校評価自己評価

### 1. 明るい学校生活

生徒・保護者の約 9 割が肯定的な評価をしています。生徒一人ひとりの状況は異なりますが、全体としては、明るく学校生活を過ごしていると思います。しかし、1 割の生徒が、思わないと答えていることをしっかり受け止め、すべての生徒が明るく楽しい学校となるようにしていきたいと思います。

### 2. きめ細やかで手厚い指導

生徒・保護者の約 8 割が肯定的な評価をしています。本校の教育活動での意図が良い方向で受け止められていることと感じています。現在取り組んでいる教育活動を基本としながら、引き続き生徒一人ひとりの実情を踏まえた指導の工夫・改善に努めるとともに、他の項目との関連も考慮したうえで更なる向上を目指していきたいと思います。しかし、約 2 割の生徒・保護者が思わないと答えています。このことをしっかりと受け止めて指導を進めたいと思います。

### 3. 学ぶ意欲を生み出す魅力ある授業

学習習慣の定着を図るために朝読書や朝学習、進路希望に応じた学力向上を図るための放課後・土曜・夜間講習等にも取り組んできました。魅力ある授業から生徒の意欲が増し、学力が身になるものと思います。それは、教える側の教員が一番大切にしなければなりません。生徒や保護者の約 3 割が不満がある結果となったことをしっかりと受け止め、楽しく基礎から応用まで幅広く学習が行えるために ICT 教育の充実に努めていくのと同時に、教職員自ら研修を深め教育力を高め、生徒が意欲を生み出せる魅力ある授業づくりを進めていきたいと思います。

### 4. 挨拶・身嗜み・言葉遣いの指導

生徒指導・生活指導については、生徒の実態を踏まえた生活指導の在り方について共通理解を図りながら、指導を進めていきたいと思います。生徒・保護者共に 2 割を超える指導が行き届いていないとの声をしっかり受け止め、より指導の成果が表れるよう取り組んでいきたいと思います。

#### 5. 学校からの情報発信

今年度は、学級通信、学年通信、PTA たより「かけはし」、ホームページ、クラッシー等において情報発信を行いました。紙媒体との併用での発信としましたが、生徒・保護者ともに約 9 割が肯定的にとらえられています。今後もより良い情報発信に努めて参りたいと思います。

#### 6. 進路意識の向上

生徒・保護者ともに 8 割以上に高い評価がされています。今年度は、進路別ガイダンスのほか、日本航空大学校との連携事業としての授業を複数回実施したほか、毎月進路ガイダンスを実施し、進路意識の向上に努めてきました。今後も積極的にキャリア教育を進めていくとともに、学校と生徒・保護者との情報共有を密にしながら進路意識向上に努めます。

#### 7. 幅広い進路希望の実現

生徒・保護者の 8～9 割近くに理解されていることが読み取れます。個に応じた進路選択には、教員サイドからの情報・資料が提供され、それを活用して生徒は実現に向け努力しているものと考えます。北高アカデミーによる平常講習や夜間講習、チューターの努力等により合格実績も向上してきております。また、英語検定・漢字検定・数学検定をはじめ多くの受験機会を提供して多くの合格者を輩出するよう、学習環境の充実に努めていきます。

#### 8. 豊かなクラブ・生徒会活動の充実

生徒・保護者の 8～9 割が活動の展開を高く評価してくれています。私学である本校においては、継続してこのことを大切に、生徒にとって魅力あるものにしなければならないと思います。多方面での生徒の活躍は学校生活の原動力として働いていることを見ると、大切にしなければならないと考えます。しかし、充実感が不足しているとの声をしっかりと受け止め、より充実した活動を目指していきます。

#### 9. 心のつながり、共感的指導

現在、どこの学校においても大きな問題として抱えているのが SNS 利用による生徒指導上の問題です。このことに端を発した人間関係の構築に課題が集中しています。どんなことを進めるにあたって、生徒と同じ目線で物事を考え、共有した中で育てる基

本姿勢を持たなければなりません。高校生という年齢から、自主性・自立性が求められて当たり前のことではありますが、そこには必ず指導性がある対応も大切です。周りに関わりの持てるすべての人々がそのことを意識し、個々の成長を援助していきたいと思えます。

#### 10. 施設設備の充実

全クラスへの電子黒板の導入、PCのLAN改善、校内外のLED化、体育館暖房等ここ数年においても設備充実に努めてはおりますが、まだまだ課題も多くあります。次年度は、教室へのクーラー設置を進めていくなど、さらに施設設備の充実に努めていきたいと思えます。

令和5年度学校評価アンケート集計表

設問1「明るい学校生活」				
	思う	やや思う	やや思わず	思わない
生徒	46.31	41.39	7.61	4.7
保護者	27.9	59.42	10.51	2.17
教職員	25	60.71	14.29	0

設問6「進路意識の向上」				
	思う	やや思う	やや思わず	思わない
生徒	44.97	42.28	8.5	4.25
保護者	24.54	59.71	15.02	0.73
教職員	39.29	57.14	3.57	0

設問2「きめ細やかで手厚い指導」				
	思う	やや思う	やや思わず	思わない
生徒	39.6	40.94	14.99	4.47
保護者	17.45	61.45	18.91	2.18
教職員	35.71	57.14	7.14	0

設問7「幅広い進路希望の実現」				
	思う	やや思う	やや思わず	思わない
生徒	46.53	42.73	8.05	2.68
保護者	22.34	63	13.55	1.1
教職員	25	57.14	17.86	0

設問3「学ぶ意欲を生み出す魅力ある授業」				
	思う	やや思う	やや思わず	思わない
生徒	36.24	38.93	16.78	8.05
保護者	13.09	55.64	26.91	4.36
教職員	25	50	25	0

設問8「豊かなクラブ・生徒会活動の展開」				
	思う	やや思う	やや思わず	思わない
生徒	50.56	38.26	6.71	4.47
保護者	28.57	56.04	13.19	2.2
教職員	42.86	39.29	14.29	3.57

設問4「挨拶・身嗜み・言葉遣いの指導」				
	思う	やや思う	やや思わず	思わない
生徒	38.7	39.6	14.32	7.38
保護者	18.18	56	21.45	4.36
教職員	25	64.29	10.71	0

設問9「心のつながり、共感的指導」				
	思う	やや思う	やや思わず	思わない
生徒	40.94	42.28	11.41	5.37
保護者	17.15	58.03	21.53	3.28
教職員	3.57	57.14	32.14	7.14

設問5「学校からの情報発信」				
	思う	やや思う	やや思わず	思わない
生徒	45.19	39.6	11.19	4.03
保護者	32	56.36	9.82	1.82
教職員	17.86	42.84	39.29	0

設問10「施設設備の充実」				
	思う	やや思う	やや思わず	思わない
生徒	39.91	33.18	15.92	10.99
保護者	17.95	43.96	30.77	7.33
教職員	17.86	14.29	25	42.86

## 帯広北高等学校 学校関係者評価委員会による評価報告

令和6年2月20日(火) 19:00～

帯広北高等学校 会議室にて実施

### 1. 学校運営に関する評価について

生徒・保護者の評価に対して、教職員の自己評価の平均値が低い結果となっているが、今後のより良い学校づくりへの問題意識等、前向きに改善を進めたいゆえの結果と思われる。

今年度は、日本航空大学校との連携事業が本格化し、現地に行つての授業、フライト体験や本校に来ていただいでる授業等、学校全体としても今後の継続的な取り組みによる成果に期待したい。また、クラブ活動や各種講習、探究への取り組み等の様々な取り組みによつての成果に期待したい。

教職員の前向きな意識や姿勢を大切に、また生徒・保護者・地域住民等からの意見、要望を取り入れながら、さらに活気のある学校運営となるようにしてほしい。

### 2. 学習指導に関する評価について

朝読書・朝学習、北高アカデミーによる各種講習等による取り組みが成果として表れていると思われる。幅広い学力層が在籍する学校のため、個に応じた指導が不可欠であるので、さらに生徒・保護者に寄り添った指導が求められるのではないかと。

ICT技術の向上も教職員の課題である。さらに魅力あふれる授業が展開されることが、学校の生命線であるので、更なる教職員の研鑽に期待したい。

### 3. 生活指導に関する評価について

生徒の評価に対し、保護者の評価が厳しいものがある。この部分をしっかりと受け止め、基本的な生活習慣の確立、挨拶・身嗜み・言葉遣い等をより力を入れて取り組んでもらいたい。多くの真面目な生徒がさらに地域からも評価されるよう学校として全力で取り組んでもらいたい。

### 4. 進路指導に関する評価について

生徒の評価と保護者の評価の違いがはっきりとしていて、より親身な丁寧な指導が求められているのではないかと。学校として取り組んでいる毎月行っている進路ガイダンスや各種講習をしっかりと活用することによって、生徒のみならず保護者の理解を高めていく必要があるのではないかと。

5. 特別活動に関する評価について

新型コロナが5月から5類となったことにより、かなりの活動が通常に行えるようになりよかった。学校祭も新たな取り組みも定着していた。他の項目より高い評価となっているが、生徒の情熱を教職員がしっかりと受け止め、より良い方向へ導いてもらいたい。

6. その他

学校が更なる発展を目指し取り組んでいることが伝わってきた。さらに地域とのかわりを深めて、より成果として活気のある学校を目指してほしい。

帯広北高等学校 学校評価 第三者評価委員会による評価報告

令和6年3月21日(木) 19:00～

帯広北高等学校 会議室にて実施

1. 学校運営に関する評価について

校長以下全教職員により、より良い学校づくりを進めてほしい。特に日本航空大学校との連携事業をはじめとして、教育が活性化されていると思われるので、さらなる成果をあげてほしい。

2. 学習指導に関する評価について

朝読書・朝学習、北高アカデミーによる各種講習等による取り組みが成果として表れていることは評価できる。ICT教育にも積極的に取り組んでいるが、技術の向上とさらなる魅力あるものにしてほしい。地域や中学生などにももっと知ってもらえる取り組みを行ってほしい。

3. 生活指導に関する評価について

挨拶や身だしなみの指導をはじめ、より地域からも評価されるような生活指導に期待したい。そして、より良い学校をめざしてもらいたい。

4. 進路指導に関する評価について

学校として取り組んでいる毎月行っている進路ガイダンス等の取り組みなどの様々な活動を保護者にも理解してもらい、より丁寧な対応を行ってほしい。そしてさらなる成果に期待したい。

5. 特別活動に関する評価について

今年度は様々な制限がなくなり、ほぼ通常の活動が行われ、生徒の活躍が多くみられた。今後の更なる活躍に期待したい。

6. その他

生徒・保護者・教職員・関係者・第三者のそれぞれの視点からの評価を生かし、今後の学校運営に活かしてほしい。